

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2001-42186 (P2001-42186A)
 【公開日】平成 13 年 2 月 16 日 (2001.2.16)
 【出願番号】特願 平 11-218271
 【国際特許分類】

G 0 2 B 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/00 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 8 月 2 日 (2006.8.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 9】

温度変化 T が生じると、各部材は温度変化にともない寸法変化を生じる。寸法変化後の部材 3 の長さを a' 、部材 4 の長さを b' 、部材 5 の長さを c' 、部材 6 の長さを d' とすると

$$a' = a (1 + \alpha_a T) \quad (15)$$

$$b' = b (1 + \alpha_b T) \quad (16)$$

$$c' = c (1 + \alpha_c T) \quad (17)$$

$$d' = d (1 + \alpha_d T) \quad (18)$$

となる。温度変化 T による寸法変化後の h を h' とすると、 h' は

$$h' = 2 (s' (s' - a') (s' - b') (s' - c'))^{1/2} / a' \quad (19)$$

ここで s' は

$$s' = (a' + b' + c') / 2 \quad (20)$$

である。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 8】

温度変化 T が生じると、各部材は温度変化にともない寸法変化を生じる。寸法変化後の部材 3 の長さを a' 、部材 4 の長さを b' 、部材 5 の長さを c' 、部材 6 の長さを d' とすると

$$a' = a (1 + \alpha_a T) \quad (27)$$

$$b' = b (1 + \alpha_b T) \quad (28)$$

$$c' = c (1 + \alpha_c T) \quad (29)$$

$$d' = d (1 + \alpha_d T) \quad (30)$$

となる。温度変化 T による寸法変化後の h を h' とすると、 h' は次のようになる。